

会長挨拶

皆様こんにちは。第2回目の例会となりました。本日は、佐世保中央ロータリークラブより、香月会長様、吉野幹事様のお二人に御来訪頂きました。誠にありがとうございます。今年度市内8ロータリークラブの同じ会長幹事として一年間お世話になりますが、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

昨日は、その皆さんと共に佐世保宮島市長様を表敬訪問させて頂きました。市長からは、今の人口減少状態にある佐世保市に対し、引き続きシティブランディング・プロジェクトを推進し、「子育て」「産業」「地域資源」「文化」の4つを柱として取り組んでいく、という力強いメッセージを頂きました。市長のテンポが良く淀みがなく、そしてわかりやすく心地よいスピーチに、心に響くものがあり、これが内面から変えていくインパクト、のひとつかもしれないと思いつつ、市民の一人として何とか力になればという気持ちを新たにしました次第です。そして夜には、第3回の会長幹事会を当クラブが幹事役として、ファーストイン佐世保で開催致しました。そこでは、各クラブ会長から今年度の自クラブの方針について熱心な発表があり、そのあとの懇親会も大変盛り上がりしました。日程が重なったのは偶然ですが、年度の始めに朝も夜もご一緒させて頂き、より一層皆さんとの距離が近くなった思いであります。その中で本日御出席頂いております、香月会長様から、職業奉仕について、懇親の席で構いませんので皆さんのご意見をお聞かせ下さい、と投げかけられまして、私もその問いかけに、自分のお仕事に誠心誠意向き合い、仕事に尽くすことで、ひいては世のため、人のためにつながっていく、という入会当時から教わり、会員さんにも伝えてきたことを答えました。しかしながら、帰ってから本当にそんな建前論だけでよいのだろうか、と私なりに思案しましたが、なかなか正解は見つかりません。

ロータリー関連の本から抜粋いたしますと、「クラブ奉仕、職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕のいずれであっても、その根本は『奉仕の心』にあるということで、心が奉仕に置かれていると、すべての行動が奉仕の実践になるということです。そしてロータリアンは職業人であるということから、ロータリーの理念は、第一に自分の職業において実現されるもので、そうした境地の裏付けにある一切の活動を『職業奉仕』と呼ぶのです。」とありました。

心を奉仕に置く、いわゆる『4つのテスト』を心に置くことが、そこにつながっていくのでは、と思いました。まだまだ、この一年、色々な意味で学びが必要であると感じた次第であります。

本日もどうぞよろしくお願いいたします。